



3・4月に開催するイベント情報をお伝えします。ぜひお気軽にご参加ください。また、まちカフェ!2025年度の開催についての情報もお届けします。参加を検討している団体の皆さまはぜひご覧ください。

3/30 (日)

第1部 11:00~12:30 要予約
第2部 13:00~15:00 予約不要

まちだづくり応援基金実施報告会&公募説明会 まちだづくりチャリティーイベント

【会場】kichika(キチカ) ※相模大野駅から徒歩3分
相模原市南区相模大野3-23-2 パークハイム渋谷 B1

お申込みは
コチラ!



第1部では、2024年度助成団体による報告と2025年度公募説明、第2部ではチャリティー企画を実施します。助成団体の得意なことや専門性を楽しく体験できるワークショップやプロアーティストの作品などに出会えます!助成金応募に関心のある方はもちろん、素敵な作品や面白いワークショップに参加してみたい方にもおすすめです。

4/4 (金)

11:00~12:30
[オンライン開催]

申し込み者限定・アーカイブ配信あり

私の経験やチャレンジが、誰かの原動力になる みんなの経験共有会 vol.22

町田から全国へ広がるボランティア ~まちだサポーターズのあゆみ~

【ゲスト】まちだサポーターズ

お申込みは
コチラ!



この先も町田で語り継いでいきたい活動のお話を伺う(みんなの経験共有会)。今回のゲストは町田が誇るボランティアグループ「まちだサポーターズ(通称:まちサポ)」です。「スポーツ祭東京2013」の運営ボランティアをきっかけに誕生し、現在も市内の様々なイベントで活躍されている「まちサポ」の皆さん。楽しく・自発的に・想いを持ってボランティア活動ができるコツや、まちサポの仕組み・運営のポイントを伺います。

まちカフェ! 2025 始動します!

まちカフェ!は今年で19回目の市内最大級の市民協働イベントです。参加団体とボランティアが「まちカフェ!実行委員会」として、協力して準備を進めます。新しい出会いや、チャレンジが生まれる場となっています。2024年度は131団体、169企画、来場者は9,667名でした。



【日程】2025年11/29(土)~12/7(日)

初日11/29(土)は市役所会場で一斉開催。全9日間を通して、市内各所やオンラインでイベントを実施します。

【予定】準備会 5/15(木) 実行委員会 6/19(木)、9/18(木)、10/16(木)、11/20(木)



Check!

オープントーもぜひ活用を!

気軽に相談できる「まちカフェ!オープントー」では、プチ講座を開催。団体の打ち合わせにも利用できます。スタッフも常駐しているので何でもご相談ください!

【会場】町田市役所2階 市民協働おうえんルーム

【日時】4/3(木)・5/1(木)・6/5(木)ほか
原則毎月・第一木曜日 10:00~17:00
※予約不要 ※最新情報はHPIにてご確認ください。



一般財団法人町田市地域活動サポートオフィス

info@machida-support.or.jp

042-785-4871 月~金 午前9時から午後6時
(毎月第三水曜日は午後5時まで)

〒194-0013 東京都町田市原町田4丁目9-8 町田市民フォーラム4階

●JR横浜線町田駅から(徒歩約5分) 小田急線町田駅から(徒歩約8分)

●お車で越しの場合は近隣の駐車場をご利用ください

相談
無料

事前
予約制

公式SNS 更新中



www.machida-support.or.jp



Now

「ふだんの活動にプラスON交通安全・防犯協働事業」
実施報告会を開催しました!

Topics

まちだづくり応援基金、第2期が始まります

Information

これから開催するイベント情報



▲報告会では15団体が取り組みを発表し、質問や意見交換も活発に行われました。

Now

近況報告

行政×地域活動=∞

「ふだんの活動にプラスON交通安全・防犯協働事業」 実施報告会を開催しました!

1月26日(日)、町田市役所2階の市民協働おうえんルームにて、「ふだんの活動にプラスON交通安全・防犯協働事業」の実施報告会を開催しました。本事業は、町田市市民生活安全課の委託事業(プラスON事業)として、交通安全・防犯に関する啓発をより広く市民に伝え、啓発活動の担い手を増やすことを目的に実施。団体はふだんの活動に啓発要素を加えた(プラスONした)内容を企画しサポートオフィスは費用や運営の支援を行いました。



Voice
参加者の
声

行政から最新情報を得ることが出来て知識も増えた。交通安全や防犯は日常に関わる大切な内容なので、今後も講演会や古道ウォークの中で啓発していきたい。(鎌倉古道・歴史遺産の会)

親子で一緒にルールを学び、実践する良い機会になった。イベントを通して子ども会の会員が3名増えたことが嬉しい!(丸山子ども会)

猫の交通事故死について私たちがまず学び、啓発に繋がった。行政と協力し合えたのも良かった。チラシやSNSでの啓発を続けたい。(町田いぬねこ守りネットワーク)

Check!

団体の視点や繋がりを活かした バリエーション豊かな啓発事業が実施されました。

交通安全・防犯の啓発に活用できる動画や紙芝居、チラシ等を資料としてHPにまとめました。団体の企画のアイデアの一つとしてご活用ください。実施相談も可能です。



3年間の成果

団体の視点やつながりを活かしたバリエーション豊かな啓発事業が実施されました。

50事業

 のべ参加者

3,324名



Topics 特集 // 地域活動の新しいチャレンジを応援! // 第2期 まちだづくり応援基金が始まります!

市内で活動する方や団体の新しいチャレンジを応援したいという思いを持った方からのご寄付により2024年度に設立された「まちだづくり応援基金」、来年度の助成募集の実施が決まりました。本特集では、本基金の概要やご寄付をいただいた方たちからのメッセージと共に、サポートオフィスが実際に行ったファンドレイジング(活動資金調達)の事例をご紹介します。継続的な活動に欠かせない資金について考える機会になさってください。また、基金へのご寄付も引き続き募集しております。皆さまからの温かい応援をお待ちしています!

About まちだづくり応援基金とは

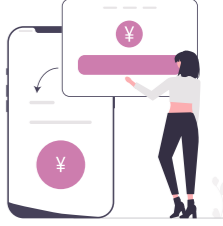
市内で活動する方や団体を応援したいという思いを持った方からのご寄付により、2024年度に設立。本基金により町田市のまちをよくする志をもった個人、団体(団体の法人格の有無は問いません)の「新しいチャレンジ」にあたる取り組みに対して1件最大5万円(10/10補助)を助成します。2025年度は5月から詳細の情報公開・公募開始予定です。

2024年度の助成団体とその取り組みは下記からご覧ください



Case Study 活動に活かしたい! ファンドレイジング(活動資金調達)の事例

ここからは、サポートオフィスがまちだづくり応援基金のご寄付を募るために実際に行った事例をご紹介します。どれもちょっとした工夫や準備のできるもので、ぜひお試しください。



よくあるご質問

Q1 応募要件で気を付けることはありますか?

法人格の有無は問いません。申請内容が市内で実施する活動であることや新しいチャレンジにあたる事業であることに加え、サポートオフィス主催「まちだづくりカレッジ」の受講実績か助成金応募年度に受講予定、もしくは町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ!」に参加することが要件です。詳しくは、今後発表される募集要項をご覧ください。

Q2 「新しいチャレンジ」の基準はありますか?

本基金は通常の活動の「継続費」としてではなく、「新しい挑戦や試み」をされている事業へ補助をするものです。通常の活動でも「新しい広報にチャレンジする」「いつもとは異なったワークショップを実施してみる」「新しい参加者に来てもらうようプログラム内容をリニューアルする」等、いつもの活動をステップアップさせる試みを応募書類に記載ください。

Message 本基金にご寄付いただいた皆さんからのメッセージ

MESSAGE 01 創設寄付者より

～ノブレス・オブリージュの精神で賢くお金を減らす～

寄付をした理由
ノブレス・オブリージュの精神で、「いつかは社会に還元したい」と思っていましたので、80歳になり「今だ!」と思った次第です。私が投じた一石を基に、「町田市の志のある方々」が、この基金に資金提供をして頂けるとうれしいです。私と同じように年齢を重ねる方には、「賢いお金の減らし方」を一緒に実践しようとお伝えしたいです。

ノブレス・オブリージュ)19世紀にフランスで生まれた言葉で、「noblesse(貴族)」と「obliger(義務を負わせる)」を合わせたことば。身分の高い者はそれに応じて果たさねばならぬ社会的責任と義務があるという欧米の道徳観。

今後応募される方に期待すること
これから取り組みたい事の「実現した姿」を心に描いて、「地域社会に今までなかった新しい活動を、産み出し育むのだ!」という強い信念・熱意・情熱で挑戦すれば、必ず成功しますよ!応援しています!

MESSAGE 02 Mさん(法人代表)

利益の何%かを社会還元する取り組みをしている会社があり、私も経営が黒字化したら寄付をする企業になりたいと思っていました。「地域の活動に寄付をする」と決めることで、いろいろな活動や団体の事業を知る契機にもなりましたし、勘定科目に新たに「寄付」という欄を設けたことで「事業を黒字化するぞ!」と気持ちも新たにしました。地域活動には今は時間的に参加できませんが、資金提供という形で皆さんを応援できたらと思っています。

MESSAGE 03 Aさん(個人)

応援してくれる人の存在は小さな一歩を踏み出す力になります。基金の目的に共感し、寄付をしました。受け取った応援が、次の誰かの一歩につながり、それが連鎖して、地域やまち、社会が未来に向けて進む力になることを願っています。

本基金は皆さんからのご寄付によって運営しており、今後も多くの方からのあたたかいご寄付で本基金を育てていきます。これまでにご寄付いただいた方々から、寄付に込めた想いや寄付理由などをお伺いしました。

CASE 01 販売できるものをつくる

寄付金をお寄せいただく方法の一つに、商品を作成しその収益を寄付金に充てる方法があります。自団体の事業やテーマに合ったものや得意なことを商品化してオリジナリティを出すのがお勧めです。団体の運営サポートを事業の柱としているサポートオフィスが大事にしているのは「人間力」と「遊び心」。ということで、スタッフ一人ひとりの人となりやまわっていることなど楽しく知っていただけることを目的としたZINE(小冊子)を作成し、販売しました。

ZINE「ひまつぶし」▶
1冊500円で販売。印刷費の実費を差し引いた収益すべてをまちだづくり応援基金の資金にしています。



CASE 02 24時間いつでもどこからでも簡単に募金してもらえるオンラインプラットフォームを導入する

サポートオフィスでは、Syncable(シンカブル)というオンラインプラットフォームを導入しています。寄付を「集める」「管理する」「伸ばす」ための機能が初期費用・月額使用料が無料で使えます(寄付金が発生した場合のみ決済手数料が発生)。Syncableのサイト上に自団体の寄付情報を掲載したページを作れるので、そのページを自団体のHPやSNSなどで拡散することで、手軽に募金情報とオンライン上での寄付をお伝えすることができます。

サポートオフィスの寄付ページはこちらからご覧いただけます



◀ Syncable

CASE 03 目の付きやすいところやイベント会場等に募金箱を設置し、寄付を呼びかける

サポートオフィスの事務所では募金箱を常設しています。イベント等にも持ち込み、常に寄付をしていただけるようになっています。皆さんに安心してご寄付いただけるように、寄付金の使途は、寄付者の方のみならず、広く正しく報告することを大切にしています。

支える手チャリティコンサート▶
今年度のまちカフェ!内企画「支える手チャリティコンサート」にも募金箱をもってお邪魔させていただきました。開催レポートを翌週には公開し、寄付額やどのように生かすのかをホームページで報告させていただきました。



皆さんからのご寄付をお待ちしています! 3/30(日)にまちだづくり応援基金の実施報告会&チャリティーイベントを開催します! 詳細は巻末ページへ

来年度も地域活動の新しい挑戦をする人・団体を応援する(まちだづくり応援基金)の助成を実施します。本基金を市内でこの先も継続するため引き続きご寄付を募っています。みなさんのあたたかいご支援をよろしくお願いいたします!

- ✔ 募金箱 サポートオフィスに直接お持ちいただく
- ✔ お振込み サポートオフィスの寄付口座に入金いただく
- ✔ カード決済 オンライン寄付(Syncable)から寄付いただく

受領書などの書類も随時発行可能です